

津市立北立誠小学校

津市立北立誠小学校では、平成26年11月28日(金)に、4年生70人が「林業に焦点を当てた環境学習」に取り組みました。

平成26年11月10日(月)から12月25日(木)まで、三重大大学の主催により、三重大大学レーモンドホールで「WOOD JOB!と三重大大学演習林～御神木が三重大大学に来た!～」と題した企画展が開催されました。子どもたちは、その企画展を訪れ、映画「WOOD JOB!」の展示から、林業がどのような仕事なのか、木が育つにはどれほどの年月が必要なのかについて、三重大大学生物資源学部の学生の方からお話を伺いました。また、展示物の中には、三重大大学の演習林から採取した木の実、種、動物の標本などがあり、木の種類や生物の生態系について学びました。

その後、ヒノキの丸太から1人1つずつオリジナルコースターを製作しました。オリジナルコースターは、ノコギリや焼印を使って製作しました。

これまで、4年生の子どもたちは、環境学習を「志登茂川と町屋海岸」といった水質の学習として進めてきました。今回の林業の学習を通して、河川をきれいにするだけでなく、水源地である森林を育てていくことが河川の環境保護につながることを学びました。

また、コースター作りでは、ヒノキの木を使って製作しました。子どもたちは、ヒノキの香りや、表皮に興味を抱いており、木の特性や種類についても考える良い機会となりました。



林業についての説明



展示物から木や動物について調べました



ヒノキの丸太を使ったコースター作り

時間	1時間30分
場所	三重大大学レーモンドホール
対象者・人数	4年生70人
講師	国立大学法人 三重大大学 環境ISO学生委員会 副委員長 森元貴大さん 他、三重大大学 環境ISO学生委員会の職員及び学生
内容	映画「WOOD JOB!」の展示会から 林業と河川の環境学習 ・林業について学ぶ ・三重大大学の演習林から学ぶ ・ヒノキの丸太を使ったコースター作り
備考	三重大大学 環境ISO学生委員会と連携